

「TAKANAWA GATEWAY CITY」文化創造棟の名称を発表 「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」

施設名称に込めた思いや活動方針を初公開

一般財団法人 JR 東日本文化創造財団は、2024年10月30日(水)の「TAKANAWA GATEWAY CITY」まちびらき150日前記者発表会にて、「TAKANAWA GATEWAY CITY」のまちづくりのプロジェクトとして、2026年春に開館予定の複合文化施設の名称を「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」（モン タカナワ: ザ ミュージアム オブ ナラティブズ）に決定したことを発表いたしました。当財団 MoN Takanawa: The Museum of Narratives 開館準備室 室長内田まほろが登壇し、名称に込めた思いや活動方針、プログラムの方針について語りました。



(右) 東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 喜勢陽一
(左) MoN Takanawa: The Museum of Narratives 開館準備室
室長 内田まほろ



発表会の様子

■ 「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」の名称に込めた思い・プログラムの方針

MoN Takanawa: The Museum of Narratives は、「100年先へ文化をつなぐ」をミッションとしています。それぞれのキーワードは、「Mon: 境界を越える」「Museum: 知をつなぐ」「Narratives: 物語を生み出す」を意味し、『あらゆる境界を越え、伝統と未来をつなぎ、物語を生み出し続ける』という思いが込められています。

登壇した内田まほろは、「半年に一度設定するテーマに沿ってさまざまなプログラムを展開し、分野横断的な文化体験を提供します。主にコンテンツの発表を目的としたプログラムスペースのほか、来館者がくつろいだり、自ら楽しみを見出したりできるパブリックスペースを整備します。デジタルで記録することにより、ライブ・パフォーマンスや展覧会のデータを収集・保存し、コレクション化を推進。鉄道ネットワークや海外連携を活用し、地域や国際交流の架け橋として、伝統文化の継承と新たな価値創造も目指します。」と語りました。

※施設の詳細については下記をご確認ください。

プレスリリース（2024年10月30日付）：<https://dl.nx1k.jp/fb5cfa6d-2e81-4ba0-bcfe-a9e7ab96de82>

■施設概要

名称	MoN Takanawa: The Museum of Narratives
事業者	一般財団法人 JR 東日本文化創造財団
敷地面積	7,977.31 m ²
延床面積	28,952.55 m ²
高さ	44.98m
階数	地上 6 階・地下 3 階
設計者	品川開発プロジェクト（第 1 期）設計共同企業体
デザイナー	外装デザイナーアーキテクト／隈研吾建築都市設計事務所
開館	2026 年春（予定）

■内田まほろプロフィール



一般財団法人 JR 東日本文化創造財団 MoN Takanawa: The Museum of Narratives 開館準備室 室長
大阪・関西万博 テーマ事業シグネチャーパビリオン 「いのちの未来」企画統括

2002-2020 年日本科学未来館で、科学とアートやデザインを融合した数多くの企画展、常設展の開発に従事する傍ら、Barbican Centre やグッドデザイン賞等、国内外でゲストキュレーターや委員を務める。

■一般財団法人 JR 東日本文化創造財団について

当財団は、JR 東日本が開発をすすめる「TAKANAWA GATEWAY CITY」の複合文化施設の企画運営を通して、日本の文化創造に貢献するための組織として 2022 年 4 月 1 日に設立されました。

「100 年先へ文化をつなぐ」というミッションのもと、技術のイノベーションの地から、100 年先の未来に向けて、時空を越え、専門分野を越え、あらゆるボーダーを越え、伝統と未来をつなぐ文化を生み出し続ける場を目指します。

ウェブサイト：<https://www.jreast-ci.or.jp/>

本会見のオフィシャル画像は下記ストレージよりダウンロードが可能です。

URL：<https://prap.gigapod.jp/fd03b0cfaf3a1be1f6222b74e8e452855d44e0beb>

パスワード：wef72ht8

記事掲載・放送等にご活用ください。



<本件に関する報道関係者の問い合わせ先>

MoN Takanawa: The Museum of Narratives PR 事務局
担当：高田（JR 東日本文化創造財団）・梅津（株）ブラップジャパン）
MAIL：press@jreast-ci.or.jp